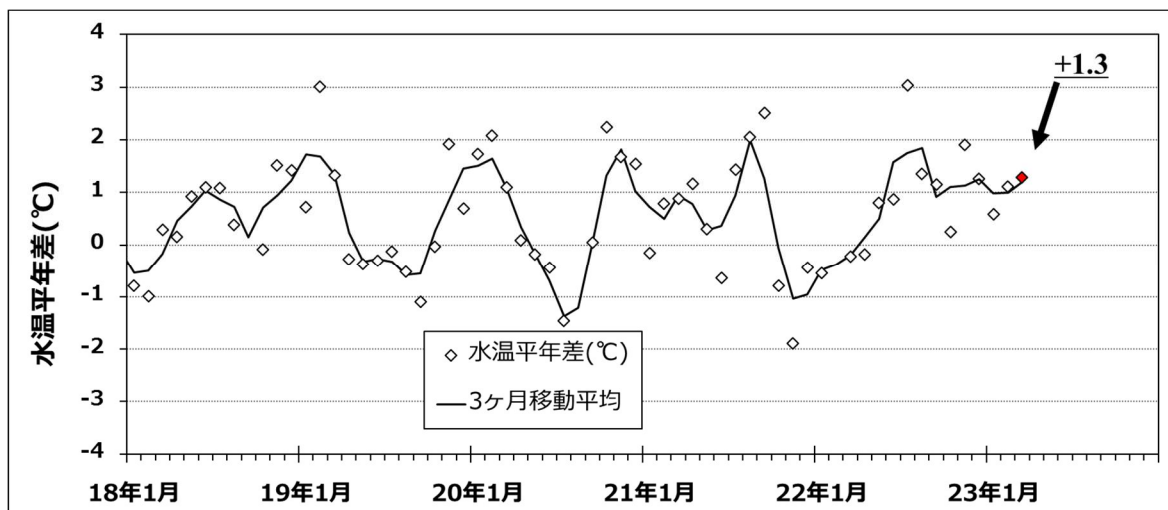


【水温の変動】

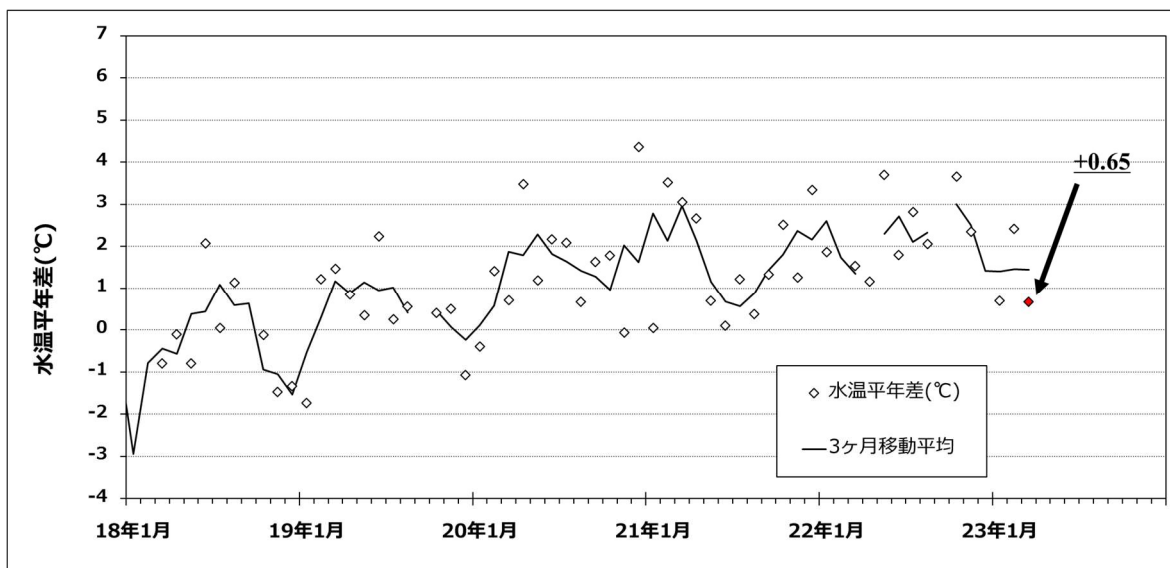
3月16、17日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。なお、本観測ではA19が欠測となりました。

湾口部では平年差+1.3°Cでやや高めとなっています。沖合域の水深 200m では平年差+0.65°Cでやや高めとなっています。3月15日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖の北緯 32 度付近から大王崎沖北緯 30 度付近まで南下した後、御前崎沖北緯 34 度付近まで北上し、東へ流れる As 型流路となっています。現在、御前崎沖に著しく接近する黒潮主流の影響により、遠州灘沖は高温傾向となっています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去 10 年平均値との差

【渥美外海の海況】

湾口部から渥美外海にかけての水温は、表層で12.3～20.6℃となっていました。水温の鉛直断面図によると、湾口部から外海にかけてが、水深50m付近まで暖水に覆われています。クロロフィルa濃度は、渥美外海の沖合にピークがみられました。

水温の水平分布図と水温、塩分、密度、クロロフィルa濃度の鉛直断面図

